

特別な場所 特別な舞台 メモリアルで夢を実現する



（昨年11月のダイヤモンドカップで待望の福岡GI初制覇。8月のメモリアルには開催施行者の福岡が推薦した選手として出場する）

ダイヤモンドカップの優勝戦を振り返って

手応えがあったというより、福岡の優勝戦を走るときは、常に自分が優勝すると思ってる。だからいつも通りといえはいつも通りですね。

あのレースは馬場（貴也）さんが3号艇なので、多分まくり差す。5コースとしてはまくってくれた方がいいので、展開的に厳しいなというのはありました。それでも思いっきりハンドルを切るしかないですね。

福岡でGIを取りたいと思って選手になった。これまでもエンジンが出ていて流れも良くて、これで取れないならつてチャンスが何回もあった。時間もかかったけど、やっと夢がかないました。

一選手としてのやりがい

舟券が当たってお客さんが喜んでくれるのが一番うれしい。今はSNSがあるので「ありがとう」とか、「この舟券取ったよ」とか目にする機会が増えて、よりうれいなるっていうのがあります。だから、お客さんになるべく分かりやすいように心がけていて。例えば本番だけ前につけに行くのは嫌ですね。行くならちゃんと意志を見せたい。

一古澤光紀選手の師匠として

やまと（現ポートレーサー養成所）を出てきた時に言われたけど、1回断りました。本当に教えるのが苦手だし、もっと上手な人に付いた方がいいって。ただ、山（鉄也）さんに自分も成長でき

きるかもしれないからって言われて、引き受けました。

（古澤選手は）元々うまかったし、ケガとかしてだいぶ遠回りしたと思うんですけど、勝手にA1になると思っていた。だから記念に来た時に、他の支部の人にもかわいがられたらいいので、僕の弟子ですって紹介しよう。そういうのは思っていました。

（古澤選手に）望むものは、何もありませんよ。まあとりあえず、GIとか取ってくれたらうれしいな。できれば二階の節とかで見られたらいいなとは思っています。

一福岡で行われるSGに対して

特別すぎますね。回数もあと数えるくらいでしょうから。開催される回数と自分が出られる回数、チャンスがあるエンジンを引く回数を考えて、なんとなく少なくなっている。

だいたい準備は乗っけていて。ただ、準備でいつも悔しいなあって記憶しかありません。一番チャンスがあったのは優勝戦でFした時（2011年8月の福岡メモリアル）。あれはもうチャンスと違って。若かったですね。



【福岡ダイヤモンドカップ表彰式】

なかなか地元のGIであんなにきれいに入れない（5コースまくり差し）。ああいうレースができたのはすごくうれしかったですね。

一メモリアルにかける意気込みを、頭張りました。本当、それだけです。エンジン抽選とか、いつもは何の感情もなく回すんですけど、福岡のときはドキドキしてくるんですよ。引き前には、引きた過ぎて、いいのが残っていたら、頼む、引かせてくれって。福岡でエンジン抽選するときにはめっちゃドキドキしています。

一今度はお客さんのいる表彰式です。そうですね。GI取れてうれしかったですけど、やっぱりちょっと寂しかったんで。競技棟内での関係者だけの表彰式は。

何で福岡で取ったかっていう選手になる前、福岡で山崎智也さんの表彰式（GI・M・B大賞で優勝）を見て、うらやましいなと思ったから。なんかすごくキラキラしていて、自分もそこに立ちたいと思ったから。でも、優勝できたのにお客さんの前で表彰式ができないままだと、実は目標達成してないのが、みたくない。コロナのバカヤロってなりましたから。みんなの前で表彰式ができたなら、絶対感動するんだろうなって思っています。本当、頭張りたいです。

登録番号 4296

岡崎 恭裕 選手

オカザキ ヤスヒロ
1987年1月10日生まれ
身長/172cm
体重/51kg
福岡県出身
福岡支部所属

取材の様子は本場とYouTubeで公開予定



岡崎 恭裕 選手

ポートレース福岡

得意!

波風が好きじゃないけど、そこは度外視して好きな水面。1Mの状況は、ポートに乗る前から待機行動の間も、できるだけ確認しています。水面の攻略法みたいなものもあるけど、感覚的なことが多いですね。

得意or苦手

全国

得意! 正直ない 苦手 びわこ・戸田

得意は正直ないですし嫌なところばかり。波風は嫌ですね。（全場制覇へびわこと徳山のあと2場）びわこは残したくない。波があるしちょっとイメージが湧かない。戸田とか狭い所もあまり好きではないです。

※2023年6月19日時点のデータ

ナルホドDATA

通算成績



全国

枠番別成績

枠番	1着率	2連対率	3連対率	出走数
1号艇	63.9%	77.9%	85.6%	952
2号艇	25.0%	53.7%	69.9%	726
3号艇	24.2%	48.5%	65.8%	776
4号艇	21.6%	46.1%	66.5%	763
5号艇	16.2%	36.5%	55.2%	673
6号艇	12.9%	30.3%	50.0%	650

コースは時期で変わる。いいイメージのときもあれば、分からないときも。だから過去10走は凄く大事。

コース別ST

節によります。練習と本番の誤差がなければ0台前半で自信あることも。

コース	1コース	2コース	3コース	4コース	5コース	6コース	平均ST
出走数	0.14	0.16	0.15	0.14	0.14	0.15	平均ST
平均ST順	2.7	3.1	2.9	2.7	2.8	3.1	平均ST順

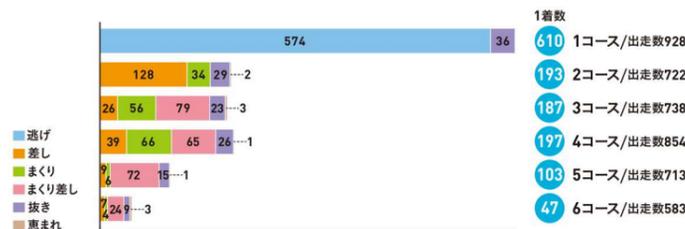
枠番別進入コース

6号艇のとき、ゆっくり6コースはほぼない。チャンスが大きいと思えばオールスローにもします。

出走数	1コース	2コース	3コース	4コース	5コース	6コース	艇番
952	891	29	3	5	7	16	1号艇
726	18	601	44	28	16	19	2号艇
776	12	42	593	73	33	23	3号艇
763	2	19	38	584	81	39	4号艇
673	3	17	29	81	467	76	5号艇
650	2	14	31	83	109	410	6号艇

コース別決まり手

今は3コースが良くない。まくり差しのイメージが全く。逆に4コースはずっといいイメージです。



逃げ 128
差し 34
まくり 29
まくり差し 79
抜き 23
恵まれ 26

スポーツ報知 中村記者の

今月のベストモーター

1位 48号機

「西部記者クラブ杯」で若林義人が乗り、2度目の優勝を飾った。優勝戦では萩原秀人を2Mツケマイで沈める圧巻のレース。抜群のパワーは「エース機」と呼んでよさそう。

2位 63号機

「どんたく特選」で前田将太が使用。古澤光紀に及ばずの準優勝だが、行き足、伸びは節一級だった。続く高岡竜也も強力な動きで、優勝した若林に次ぐレベルの足色。

3位 61号機

上位とは差のあるエンジンだったが、ギアケース交換の中間整備が行われて激変。6月1日目の「九スポ杯」では地元のベテラン山田和広が乗り、伸び強力な節一仕立てだった。

Present

読者プレゼント

オリジナルクオ・カードを5名にプレゼント



コチラよりご応募ください

